

# 『ミマモリングソフトウェア』 開発の経緯と活用事例①

第59号 2018年4月16日発行

## ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や  
ご要望に応えるコンシェルジュがいる  
ように、保育においても様々な  
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=  
ミマモルジュとして、保育に関する  
ご要望にお応えしていけるよう  
活動していきます。

株式会社カガヤ 奥山卓矢

## ミマモリングソフトウェア

『ミマモリングソフトウェア』は、子ども主体の保育を  
実現させるために開発されました。

園児一人ひとりの今の姿、その個性を理解でき、個別の保育計画が  
立てられます。育ちの経過が可視化でき、保護者への専門的な報告も  
容易にできるソフトです。

ミマモリングソフトウェアを通して、子どもの発達を見守って  
いくことで、自然と指針の内容が身につき、保育の質を上げていく  
ことができます。

新指針改定により、80を超える発達項目の追加がありました。  
それに伴い、『ミマモリングソフト』もバージョンアップしました。

本号と次号では、『ミマモリングソフトウェア』の開発に至った経緯と  
活用事例をお送りします。

既にお使いの先生方にとっては振り返りとして、また、まだお使いに  
なっていない方は、新指針適応と共に保育書類について見直しなども  
行っているかと思しますので、是非ご検討くださいませ。



『ミマモリングソフト』トップ画面

## ■開発の経緯—手書きの記録様式 事例①

クラス名: \_\_\_\_\_

	個別目標	評価・反省
氏名		

~~~~~

|    |  |
|----|--|
| 氏名 |  |
|----|--|

個別計画サンプル

### 【個別目標を立てる時の悩み事】

個別目標（ねらい）が**保育者の主観**になってしまう。計画を立ててみるものの、これで**本当に良いのだろうか？**と不安になってしまう。食事や午睡、言葉など5領域でも一部の領域に偏ってしまう。

### 【評価・反省の悩み事】

フリースペースのため、**子どもの様子**などを記録する「**子どもの評価**」になりやすい。

〇〇が**良くなかった**という**反省**で終わりやすい。個別目標での課題が反省・改善する観点にも影響し、**先生の主観**での判断となりやすい。

= **子どもの発達**からではなく、**子どもの姿**から振り返ることがおおい。  
→子どもの発達+子どもの姿で見えていくと、発達と保育環境が連動しやすい。

## ■開発の経緯—手書きの記録様式 事例②

| 平成 | 年度 | 個別計画表 | 歳児           | 組  | 園児名      | 平成   | 年     | 月    | 日 |
|----|----|-------|--------------|----|----------|------|-------|------|---|
| 月  | 月  | 子どもの姿 | ねらいと内容<br>養護 | 教育 | 健康・安全・食育 | 援助配慮 | 保護者支援 | 自己評価 |   |
|    |    |       |              |    |          |      |       |      |   |
|    |    |       |              |    |          |      |       |      |   |
|    |    |       |              |    |          |      |       |      |   |

~~~~~

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### 【手書き書類での困りごと】

クラス案に**明記**している**内容**と**重複**していることを**書く**ことが多い。

### 【手書き書類での困りごと】

ねらいや援助内容の記載が**不十分**だと、主任先生などから再提出を求められてしまう。子どもたち**一人ひとりの発達段階**を**明記**しづらい。



「その子の今」画面

### 【ミマモリングソフト活用のポイント】

「その子の今」画面にある**コメント欄**を活用することで、**手書きの個別保育計画の書類を省力**ことができ、子どもたち**一人ひとりの発達に沿った保育計画**を立案することが可能です。



# ■ミマモリングソフトの開発の経緯

## 既存の保育書類で発達を把握する時にあった課題

### 【手書きの記録様式】

記録者の主観が強く反映され、発達状況が把握しづらい  
次の発達課題が分かりづらい

### 【チェック式の記録様式】

年齢の枠を超える発達状況を把握しづらい  
次の課題が分かりづらい

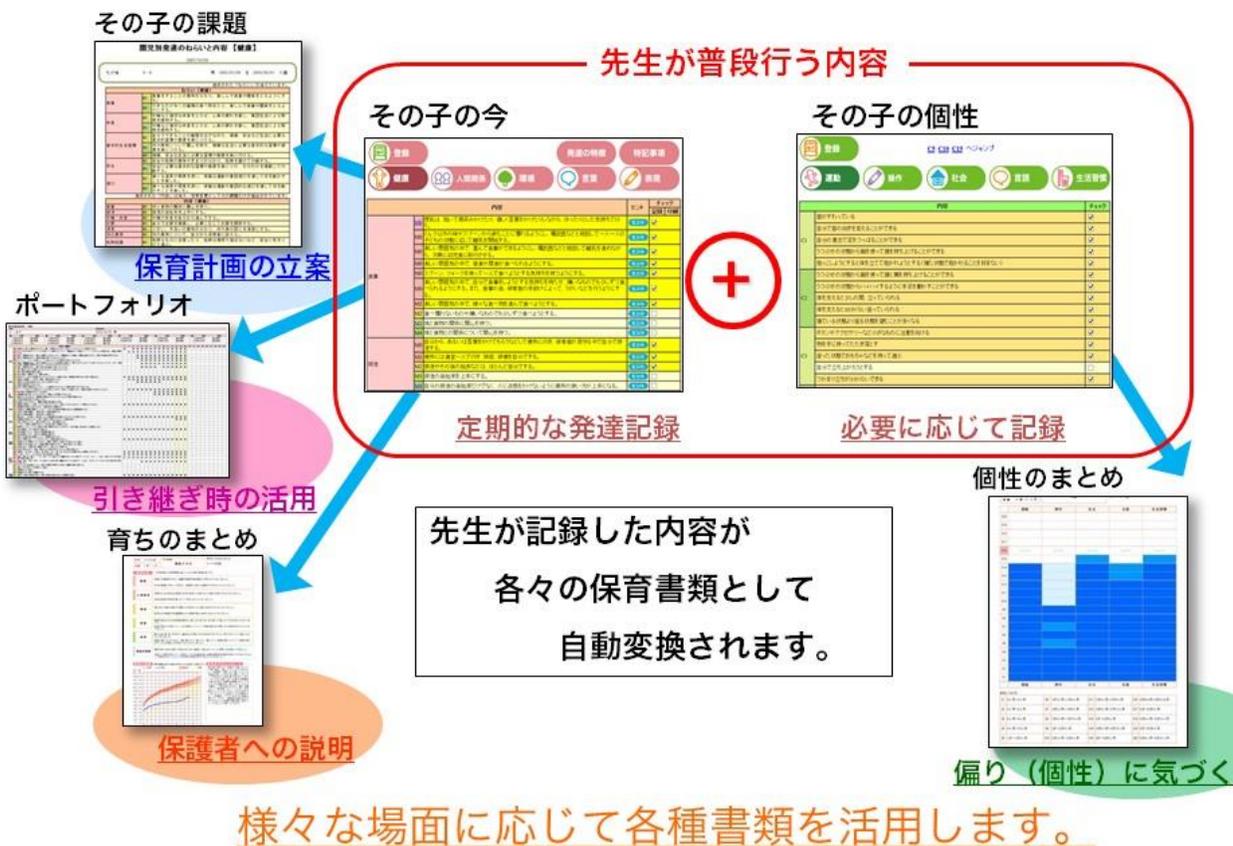
これらの問題を解決するため、  
ミマモリングソフトを開発しました！

## ミマモリングソフトを開発する際に大事にしたポイント

- 年齢ごとではなく、発達段階で子どもたちの発達を把握する
- 主観に依存しない記録様式
- 保育所保育指針・幼稚園教育要領に準拠した様式

発達を理解するための支援ツール

# ■ミマモリングソフトウェアの仕組み—全体像



## ■乳児の個別計画への活用方法について

### 手書きの保育書類

記入方法	
個別目標	評価・経過
氏名	

個別計画サンプル1

学年	年度	個別計画書	発着	退着	離乳食	午睡	おしり	お風呂
品名	子どもの名前	発着時間	退着時間	離乳食の種類	離乳食の量	おしりの状態	お風呂の時間	お風呂の温度

個別計画サンプル2

### コメント(次の計画)

課題: 体を動かすMO(球遊び、はいはい、お座り、伝い歩き、立つ、歩くなどそれぞれの状態にあった活動を十分に行う。)

配慮: 立った時の司会に玩具を置いたり、段差のあるものを配置し、乗り越えて遊べるように環境を整えていく。玩具につまずかないように散らかりすぎないようにする。

評価: 司会に入る玩具を出したり、手を伸ばして絵本を取る姿が見られた。また、パーテーションと間のドアを

【その子の今】画面にあるコメント欄を活用することで、乳児の個別計画を省力することが可能です。

個別計画に活かすためには、  
3つポイントがあります！

- 既存の保育書類の確認
- 発達チェックを行う際の3つの視点
- コメント欄の活用方法

## ■既存の保育書類の確認

自園の保育書類で困っていることはありませんか？

● 年案での困り事

● 個別計画での困り事

● 月案・週案・日案での困り事

● 児童票での困り事

● 児童要録での困り事

● その他保育書類での困り事